

基本施策(1) 未来を担う人間力の育成

目指すまちの姿

教育環境のさらなる充実により、未来を担う子どもたちが、誰もが自立した一人の人間として夢に向かって力強く生きていくとともに、社会の一員として役割を果たすことができるよう「人間力」を育成し、自らが主体的に課題解決できる、知・徳・体の調和のとれた児童・生徒を育てるまちを目指します。

現状と課題

- 宜野湾市の教育に関する意識調査によると、基礎的・基本的な学力がついている子どもたちが多いと思う保護者は 60.4%、教職員は 30.8%です。
- 「確かな学力」の向上を図るため、教師の授業力向上の取り組みと併せて、全小中学校に学習支援員を配置し、「分かる授業」の構築の取り組みを行っています。今後も学習意欲の向上につながる取り組みが必要です。
- 本来、子どもたちが身につけるべき基本的な生活習慣や規範意識、社会的マナー等が十分備わっていないため、子どもや親の意識、ニーズを的確に把握し、家庭と地域が連携しながら、子どもの生活改善に向けた取り組みが必要です。
- 改訂学習指導要領を踏まえ、道徳の教科化に向けて、効果的かつ多様な指導方法を重視した研修の充実を図る必要があります。
- 不登校問題の改善は最重要課題であり、抜本的な解決策を講じる必要があります。
- いじめ、不登校等児童生徒指導上の課題に対応するため、全小中学校にスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置しています。
- 児童生徒のむし歯保有率が高く、全国平均に比べ、小学校で 19 ポイント、中学校では 26 ポイントも上回っている状況のため、学校における健康教育の充実や、関係機関と連携した取り組みが必要です。



小学校における授業風景

一口メモ

○スクールソーシャルワーカーとは・・・

児童・生徒が学校や日常生活で直面する苦しみや悩みについて、児童・生徒の社会環境を構成する家族や友人、学校、地域に働きかけ、福祉的なアプローチによって支援する専門職のこと。

○スクールカウンセラーとは・・・

教育機関において心理相談業務に従事する心理職専門家の職業名、および当該の任に就く者のこと。

施策の展開

【施策名】	【取組方針】	【主な取り組み】
①確かな学力の向上	<p>幼児児童生徒が「生きる力」を備えた人間として成長できるよう、地域の特性を生かした教育課程の編成に努めます。特に英語教育や情報教育の充実を図りつつ、自国や他国の言語や文化について学び、国際性豊かな人材の育成に努めます。</p> <p>また、国や県と連携し、児童生徒の「確かな学力」の向上に係る取り組みを推進します。</p> <p>学校でのキャリア教育だけでなく、生涯にわたるキャリア形成に係る教育を図り、望ましい勤労観・職業観の育成に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児教育の充実 <small>子ども成長</small> ○わかる授業の構築 <small>子ども成長</small> ○特別支援教育の充実 ○外国語教育を含めた国際理解教育の充実 <small>子ども成長</small> ○キャリア形成教育の推進 <small>子ども成長</small> ○体験活動や読書活動の推進
②豊かな心・健やかな体の育成	<p>幼児児童生徒一人ひとりの豊かな心を育み、望ましい自己実現を図るため、自他の生命を尊重する心を基盤に、豊かな情操、善悪の判断等規範意識及び公共の精神、健康、安全、規則正しい生活等の基本的な生活習慣を育むなど、道徳教育・人権教育の充実に努めます。</p> <p>不登校児童生徒の問題解決に向けて、関係団体と連携を図り、臨床心理士、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等を活用し、幼児児童生徒や保護者、教職員の教育相談支援体制の充実に努めます。</p> <p>また、たくましく生きるための健やかな体を育む教育を進めます。特に、むし歯予防の取り組みや、学校給食を通して正しい食生活への理解と望ましい食習慣の形成を図る食育指導への取り組みを推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育の充実 ○人権教育の充実 ○教育相談・支援体制の推進 <small>子ども成長</small> ○健やかな体づくりの推進 ○食育の推進

目標指標

指 標	現状値 (H27)	目標値 (H31)
全国学力・学習状況調査（小学校）正答率の総合平均値の全国との差	-0.5	+3.0
全国学力・学習状況調査（中学校）正答率の総合平均値の全国との差	-8.0	-3.0
児童英検の正答率（小学5年生）	85%	88%以上
児童英検の正答率（小学6年生）	80%	83%
英語検定5級合格率（中学生）	86%	90%
ボランティア教育活動推進校	5校	全ての小中学校

関連する主な個別計画等

- ・ 宜野湾市教育大綱（H27～32年度）
- ・ 宜野湾市教育振興基本計画（H28～32年度）

基本施策(2) 地域に開かれた学校づくりの推進

目指すまちの姿

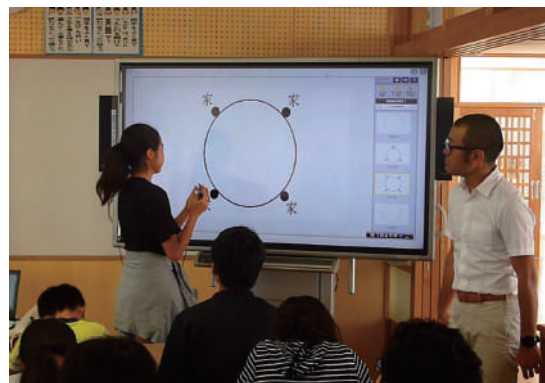
学校、家庭、地域が連携した教育活動の充実を図り、教職員の資質の向上及び ICT 環境並びに学校施設環境の整備を進め、地域に開かれた学校づくりを目指します。

現状と課題

- 地域住民がボランティアとして、学校の教育活動の支援を行い、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりに取り組んでいますが、コーディネーターやボランティアの人材発掘及び育成が求められています。
- 長期研修や初任者研修等、教職員研修の充実や高等教育機関との連携を図り、教職員の実践的指導力の向上を図っています。
- 学校での校務支援システムのカスタマイズ等に取り組み、活用率の向上に努めています。
- 授業での ICT 機器活用の促進が図られるよう、ICT 支援員による授業支援を計画的に推進し、全ての教員が ICT 機器を活用できるよう研修体制の充実を図る必要があります。
- 教育環境の変化に対応した施設整備を実施する必要があります。
- 学校施設の不具合を未然に防ぐため、日常の安全点検を徹底するなど各学校施設の現状についての確に把握し、老朽化した施設・設備については、計画的に機能更新等を実施する必要があります。
- 旧耐震基準の学校施設については、早急に耐震化を図る必要があります。



放課後子ども教室



電子黒板を活用した授業

一 口 メ モ

- ICTとは・・・
コンピュータやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービス等の総称のこと。
- 校務支援システムとは・・・
出欠や成績等を情報化し、管理を行うシステムのこと。

施策の展開

【施策名】	【取組方針】	【主な取り組み】
①地域と連携した教育活動の充実	地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進するとともに、地域住民、社会教育関係団体、NPO、近隣大学等様々な人材を活用し、教育活動の充実を図ります。	○学校支援地域本部を中核とした学校支援の推進 ○子どもの居場所づくりの推進 <small>子ども成長</small> ○青少年支援ネットワークの構築
②教職員の指導力の向上	様々な研修プログラムの設定、近隣大学や地域内外の多様な人々との協働実践を図り、校内研修の充実に努めます。 電子黒板、タブレット PC やデジタル教科書等 ICT を活用した授業の活性化を図り、より細かな指導と効果的な授業が展開できるよう、教職員の ICT 活用のスキルアップを図り、授業力の向上に努めます。 教職員の研究活動への参加促進を図り、課題解決に向けた意欲的な取り組みを支援し、教職員の人材育成に努めます。	○階層別教職員研修等の充実 ○大学と連携した校内研修の充実 ○ICT を活用した授業力の向上 ○教員の教育研究活動の推進
③教育環境の充実	子どもたちが事故や犯罪、自然災害等に巻き込まれないよう、通学路や施設の安全点検を実施するなど、地域、関係機関と連携して子どもの安全確保を推進します。 学校施設の耐震化及び長寿命化等、環境整備の充実をはじめ、各学校へ ICT 環境の整備を積極的に進めます。 教職員の労働環境の改善に向け、学習支援員やボランティア等の外部人材を積極的に活用し、教職員の健康保持及び増進に関する取り組みを推進します。	○学校の ICT 化の推進 <small>子ども成長</small> ○学校図書館の機能の充実 ○学校等施設・設備の充実 <small>子ども成長</small> ○子どもの安全・安心の確保 ○教職員の労働環境の充実 ○総合教育会議の開催

目標指標

指 標	現状値 (H27)	目標値 (H31)
学校支援ボランティアの人数	120人	180人
放課後子ども教室実施数(小学校区)	3教室	9教室
ICT を活用した授業ができる教員の割合(小学校)	47%	100%
ICT を活用した授業ができる教員の割合(中学校)	58%	100%
市立小・中学校の耐震化率	85.5%	100%

関連する主な個別計画等

- ・宜野湾市教育大綱 (H27~32 年度)
- ・宜野湾市教育振興基本計画 (H28~32 年度)

基本施策(3) 地域活動を通じた学びの充実と文化の継承

目指すまちの姿

生涯にわたり、学習することができる環境の充実を推進するとともに、郷土の自然、歴史や文化、偉人等に学び親しむ環境づくりを通して、市民一人ひとりが、ふるさとの芸術・文化に誇りと愛着を持つことができるまちを目指します。

現状と課題

- 社会教育関係団体等の会員減少や、組織力の低下が見受けられるため、組織の役割や今後の方向性を検討し、活動や運営に関する相談や支援を行う必要があります。
- 健康維持や生活習慣病を予防するため、多様な教室を実施するとともに、公民館や市内の小中学校へスポーツ推進委員を派遣し、スポーツ・レクリエーションの普及、指導を行っています。
- 時代や市民ニーズに合った学習内容を的確に把握し、身につけた知識や技能を学校や地域へ活用できるよう、関係部局や学校、NPO団体等との積極的なネットワークづくりが必要です。
- 市民図書館から遠い地域に住む市民の利用率が低いと、地域間格差の解消が求められています。また、博物館等にある資料を一元管理し、限られた読書資源の有効活用が必要です。
- 基地内の文化財について、全ての把握ができていません。
- 無形民俗文化財への参加者が少なくなり、存続が危ぶまれています。
- 有形文化財の石積み等の緩み等、補修が必要な箇所が多くなっています。
- 戦後70年余が経過し、戦後世代が大半を占めている今日、市内外からも本市の戦前・戦後史や、地域の歴史文化に対する関心が高まりつつあります。
- 博物館主催の企画展や市民講座、体験教室等の実施を通して子どもから大人まで様々な人たちが宜野湾市の特色や魅力にふれ、理解を深める機会を提供しています。
- 地域の偉人の生き方や功績、文化財を身近に感じ学べる機会を提供し、地域の方々が語り継いでいく取り組みを推進し、普天間飛行場とキャンプ瑞慶覧区域内的の文化財保護と跡地利用計画の策定等、市民が主体的にまちづくりに関われる市民参画の仕組みづくりを行うことが求められています。



青年エイサー祭り



博物館展示室（リニューアル実施）

施策の展開

【施策名】	【取組方針】	【主な取り組み】
①生涯をとoshした 学びの推進	<p>市民図書館や中央公民館等、学びの拠点施設を中心とした学習支援や芸術文化、スポーツ、レクリエーション活動を推進します。</p> <p>家庭環境の多様化、地域社会の変化に伴い、家庭が抱える様々な課題の解決に向け、家庭の教育力向上に向けた支援体制の充実を図ります。</p> <p>大人と子どもが共に学び、学びを広げることにより、地域のつながりを築き、学習成果を地域社会や学校教育に還元できる、地域リーダーの育成に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市民図書館を中心とした学習環境の充実と基盤整備 ○中央公民館を拠点とした学習支援の推進 ○学習成果を地域活動につなぐ仕組みづくり ○家庭教育支援の充実 ○芸術文化活動の推進 ○スポーツ・レクリエーション活動の推進 ○地域活動団体への支援 ○地域を支える人材の育成と基盤整備
②郷土を学びつなぐ環境の充実	<p>郷土の自然、歴史や文化、偉人等に学び親しむ環境づくりを進めるとともに、歴史的公文書や地域の歴史、文化に関する地域資料を積極的に収集、保存します。</p> <p>また、歴史・文化の発信拠点としての博物館の充実を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統文化、伝統芸能の継承及び発展 ○文化財の保存整備等の推進 ○歴史を活かしたまちづくりの推進 ○博物館を拠点とした歴史及び文化の保存活用の充実 ○文化関係団体等への活動支援と人材育成 ○市史を活用した郷土学習の推進 <small>子ども成長</small>

目標指標

指 標	現状値 (H27)	目標値 (H31)
ボランティア活動実施サークルの割合	28%	60%
スポーツ推進委員派遣事業	実施	継続実施
博物館主催の講座等の受講者数	431人	600人
文化財ガイド登録人数	3人	14人

関連する主な個別計画等

- ・ 宜野湾市教育大綱 (H27～32 年度)
- ・ 宜野湾市教育振興基本計画 (H28～32 年度)